

科目名	観光論入門 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)		
			国際観光学科	■必修 □選択	
英文表記	Introduction to Tourism Theory I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
ふりがな	いのうえ ひろし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
担当者名	井上 寛	修得単位	2単位		
授業のテーマ	「観光」のキーワードを学ぼう				
到達目標	1. 観光学とはどのような学問なのか全体的に理解できるようになる 2. 観光学のキーワードを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。				
授業概要	国際観光学科入学後、はじめての観光について専門的に学ぶ科目です。これから4年間観光を学ぶ上で必要な知識や考え方を学びます。特に、最新の観光について学ぶことを重視しますので、新聞やニュースの出来事を講義でも取り入れていきます。				
授業計画					
第1回	現代社会と観光				
第2回	観光を学ぶ意義				
第3回	観光の様々な効果				
第4回	旅と旅行・観光				
第5回	余暇・レクリエーション・ホスピタリティ				
第6回	観光を構成する要素				
第7回	観光資源と観光対象				
第8回	観光政策と観光行政				
第9回	国の観光政策と観光行政				
第10回	地方における観光政策と観光行政				
第11回	わが国におけるインバウンドの動向				
第12回	観光と国際社会・文化の関わり				
第13回	旅の歴史とこれからの旅行				
第14回	マスツーリズムからサステイナブル・ツーリズムへ				
第15回	復習				
第16回	定期試験				

<p>授業時間外の 学習</p>	<p>&lt;予習&gt; 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、教科書、参考文献、WEBサイトなどを活用し、予習をしてください。(90分程度)</p> <p>&lt;復習&gt; ノートを確認し、テキストのself checkを使用し復習をしてください。(90分程度)</p> <p>&lt;その他&gt; 新聞やテレビ、インターネットには「観光」の話題が豊富です。常日頃より観光のニュースに関心を持って生活してください。(30分程度)</p>
<p>履修条件 受講のルール</p>	<p>必修科目に指定されています。観光学を学ぶ上での基本となりますので、国際観光学科1年生は観光論入門Ⅱ(後期)と併せてこの科目を受講してください。 参考資料を印刷したA3サイズのプリントを毎時間配布しますので、バインダーを用意してください。</p>
<p>テキスト</p>	<p>JTB能力開発『観光学基礎—観光学入門のための14章』(第8版) 2019年 (2,260円+税)</p>
<p>参考文献・資料</p>	<p>週刊「観光経済新聞」 ※図書館1階にあります 観光庁 <a href="http://www.mlit.go.jp/kankocho">http://www.mlit.go.jp/kankocho</a> 日本政府観光局(JNTO) <a href="http://www.jnto.go.jp">http://www.jnto.go.jp</a></p>
<p>成績評価の方法</p>	<p>①定期試験(50%)…知識を問う問題と論述問題を課します ②レポート課題(20%)…パソコンで作成し提出してもらいます。正当な理由なく提出期限を守らなかった場合は加点しません。 ③小レポート(15%)…毎時間出席カードの裏面に書いてもらいます。なお、課題に対して満足に解答する姿勢が見られない場合は、加点しない場合があります。 ④取り組み姿勢(15%)…遅刻、マナー違反(私語・携帯操作・途中無断退席など)は加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>毎週月曜日 2時限(10:40~12:10) 毎週金曜日 3時限(13:00~14:30)</p>
<p>成績評価基準</p>	<p>平成28(2016)年度以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27(2015)年度以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p>
<p>学生への メッセージ</p>	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックをひかえ、日本全体が「観光」に大きな関心を寄せています。そして、政府は訪日外国人観光客数を4000万人にする目標を立てています。外国人観光客がたくさん日本に来て「お金儲け」ができれば、私たちは本当に幸せになれるのでしょうか?もちろんその部分も重要ではありますが、観光学はもっと深く、面白くて役に立つ学問です。</p>